株主優待のご案内

次の基準の保有株式数に応じて年1回贈呈いたします。

株式数	優待内容
100株以上～500株未満	1,000 円相当の当社商品
500株以上～1,000株未満	2,000 円相当の当社商品
1,000株以上	3,000 円相当の当社商品

● **対象株主様**
毎年3月31日現在の当社株主名簿および実質株主名簿に記載された1単元（100株）以上を保有する株主様。

● **贈呈時期**
株主名簿に記載されたご住所へ毎年6月中に発送いたします。

平成19年6月にお送りいたしました1,000円相当の商品です。

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日　（なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、9月30日といたします。）
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	3月31日　（その他、必要がある時には、あらかじめ公告いたします。）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
同連絡先	〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 電話 0120-232-711（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社　全国各支店　（野村證券株式会社　全国本支店）
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。公告掲載は当社ホームページにて行います。

株式会社 ピエトロ
〒810-0001　福岡市中央区天神三丁目4番5号
電話　092-716-0300（代表）
http://www.pietro.co.jp/

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用
PRINTED WITH SOY INK

第22期 報告書 平成18年4月1日～平成19年3月31日

証券コード：2818

株式会社 ピエトロ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社第22期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長
村田邦彦

当期の概況

当期におけるわが国の経済は、好調な企業業績を背景として民間部門の設備投資が継続するとともに、個人消費も雇用・賃金の増加に支えられ回復基調で推移し、景気は緩やかな成長を持続してまいりました。

食品業界におきましては、社会環境の変化、消費者の「安心・安全」に関する意識の高まりなど、様々な変化への対応が求められ、また、外食業界におきましても、同業態はもとより中食業態との競争激化もあり、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は永続的な企業成長を図るため、前期まで維持してきた連結売上高100億円の継続を中断することになりますが、「もう一度ピエトロブランドの構築をする」との大きな方針の下で、食品事業におきましては、近年の価格政策を変更し、ブランド重視の政策を採り、レストラン事業におきましては、不採算店の8店舗を閉鎖するとともに、既存店の大幅な収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、当期の売上高は94億11百万円（前期比6.8％減）となりましたが、利益面では、営業利益8億11百万円（前期比15.8％増）、経常利益7億61百万円（前期比19.3％増）、当期純利益3億73百万円（前期比111.4％増）となり、前期に比べ増益を果たすことができました。

今後の見通し

食品業界および外食業界におきましては、人口減社会の到来による総需要の伸び悩みの中で、流通業界再編の影響などによる企業間競争激化も予想され、さらに厳しい経営環境が続くものと思われます。

このような状況下におきまして、当社グループは、「美味しいものづくり」を続け、「唯一無二」、「オンリーワン」商品を作り続けてまいります。

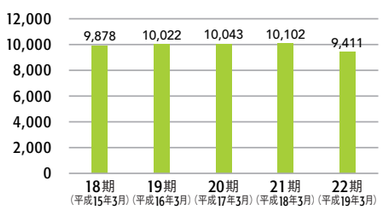
食品事業におきましては、ブランド確立に向けた取り組みを引き続き強化するとともに、天候不順・異常気象などに左右されない主力ドレッシング以外のパスタソースなどの商品群の販売育成を強化してまいります。また、旬の食材に合わせた季節商品・健康を意識した商品などの開発に取り組んでまいります。一方、製造部門では、更なる衛生管理により品質保証体制を強化し、お客様の「安心と安全」の期待に応えてまいります。

レストラン事業におきましては、今後の方向として、ミオミオとカフェの商品の良いところを融合したもっとカジュアルな店舗の充実を図ってまいります。また、「ピエトロベジェ」の新しい展開を含めてレストランの新業態開発に引き続き取り組むとともに、野菜素材を含めたグランドメニューの提案をしてまいります。

これらの諸施策を確実に実行し、業績の向上に邁進してまいります。

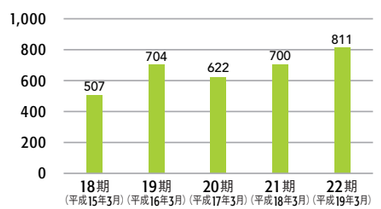
売上高

（単位：百万円）



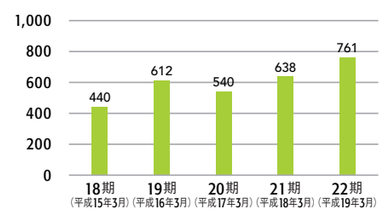
営業利益

（単位：百万円）



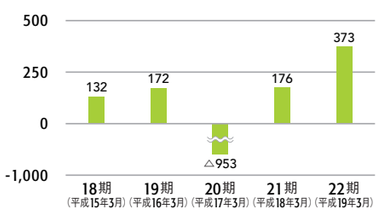
経常利益

（単位：百万円）



当期純利益又は当期純損失

（単位：百万円）



セグメント別の概況

食品事業
Food

食品事業におきましては、従来の売上高確保のための販売促進費を多用した営業を改め、ブランド向上策のひとつとして、店頭での試食販売等による「美味しさ」の企画提案に注力するなどにより、主力のドレッシングのみならず、その他の商品の育成にも努めてまいりました。

また、商品開発面では、平成18年秋および平成19年春の新商品として、「ピエトロドレッシンググリーン」と「ノンオイル梅しそ」を発売いたしました。特に、「ピエトロドレッシンググリーン」につきましては、お客様の健康志向の高まりにマッチした商品として大変好評をいただき、売上も順調に増加しております。さらにブランドイメージの向上と認知度拡大のため、新テレビCMシリーズを平成18年5月から実施いたしました。

以上の結果、売上高は45億78百万円（前期比4.2％減）、営業利益は15億6百万円（前期比5.8％減）となりました。ブランド確立のための営業方針変更で前期比減収・減益となりましたが、下半期に入り新しい営業方針が浸透し、ブランドの回復・向上が徐々に果たせ、次期につなげることができました。

ピエトロドレッシンググリーン

ノンオイル梅しそ

レストラン事業
Restaurant

レストラン事業におきましては、短期間で利益改善が見込めない8店舗の閉店を断行する一方、お客様の健康志向の高まりに応えた“野菜が主役”の新業態レストラン「ピエトロベジェ」を平成18年7月に開店いたしました。

また、既存店におきましては、販売促進費をかけた集客ではなく、お客様を飽きさせない季節メニューの展開と「味・雰囲気・サービス」の揃った店舗運営に努めてまいりました。この結果、既存店売上高も回復基調となってまいりました。

さらに経費面では、販売促進費の抑制に加え、人員配置の効率化による人件費削減に取り組みました。

一方、FC（フランチャイズ）店におきましては、前期に引き続きロイヤリティの逓減を拡大し、FC店オーナーへの経営支援と出店意欲の向上を図ってまいりました。これらにより新規出店5店舗を果たすことができました。

以上の結果、売上高は46億25百万円（前期比9.4％減）、営業利益は39百万円（前期は1億15百万円の営業損失）となりました。不採算店舗閉店により減収となりましたが、利益面では大きく改善することが出来ました。

店舗推移

（単位：店舗）

	平成18年3月末	増加	減少	平成19年3月末
直営店	38(2)	3(–)	10(–)	31(2)
FC店	70(6)	7(2)	17(5)	60(3)
合計	108(8)	10(2)	27(5)	91(5)

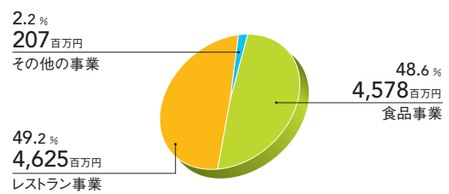
※（ ）内は、内数で海外店舗数

ピエトロベジェ
●所在地／福岡市早良区百道浜1-3-72
ハイアットプラザ内
●電　話／092-847-9500

その他の事業
Other

その他の事業におきましては、本社ビルの賃貸事業の入居者の期中入退居等により、売上高は2億7百万円（前期比5.1％減）、営業利益は1億12百万円（前期比6.6％減）となりました。

売上構成比



TOPICS

食　品　事　業

“ノンオイル梅しそ”を新発売

健康志向の高まる現代、「健康」「美味しい」をキーワードにしたドレッシング「ノンオイル梅しそ」を新発売いたしました。

生野菜やサラダはもちろん、海草や豆腐など和の素材を引き立てるお料理ソースとしてもご使用いただけます。

原材料には、ドレッシングを野菜に絡みやすくするために寒天を使用。また「米酢」と「りんご酢」を加えたことによって、まろやかな味のノンオイルドレッシングに仕上げています。

レストラン事業

“冷製パスタフェア”を開催

冷たいトマトソースのカッペリーニ 夏野菜カポナータ添え

今夏、ピエトロのレストランでの期間限定メニューとして、“冷製パスタフェア”を開催しています。

レストランメニューの中で、長年お客様からご支持をいただいている「冷製スパゲティ」。アルデンテにゆであげ、氷水で冷やしたパスタに、ピエトロドレッシング各種をベースにしたソースをあわせ、野菜などの具材をたっぷりと添えてご提供します。

ツルッとしたのどごしのよい食感と、さわやかな味わいはピエトロならではの美味しさです。

商品ラインナップ

ドレッシング

ノンオイルドレッシング

パスタソース

ピエトロスパゲティ

スパドレ

パスタベースソース

ソース&オイル

ピエトロスープ

ピエトロヨーグルト

連結決算の状況

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科　目	第21期（平成18年3月31日現在）	第22期（平成19年3月31日現在）
〈資産の部〉		
流動資産	2,533,445	2,529,535
現金及び預金	1,059,173	1,121,512
預け金	74,242	86,510
売掛金	1,090,315	1,018,794
たな卸資産	122,860	132,619
繰延税金資産	104,509	35,872
その他	101,304	158,635
貸倒引当金	△18,961	△24,409
固定資産	6,550,802	5,937,466
有形固定資産	4,598,726	4,380,892
無形固定資産	12,065	11,857
投資その他の資産	1,940,010	1,544,716
差入敷金保証金	982,239	759,565
繰延税金資産	542,460	333,695
その他	461,004	508,686
貸倒引当金	△45,694	△57,230
資産合計	9,084,247	8,467,001

（単位：千円）

科　目	第21期（平成18年3月31日現在）	第22期（平成19年3月31日現在）
〈負債の部〉		
流動負債	3,413,118	3,768,633
買掛金	540,155	582,990
短期借入金	1,300,000	1,300,000
1年以内返済予定長期借入金	772,594	1,172,662
未払金	502,650	418,403
その他	297,718	294,578
固定負債	3,202,278	1,938,533
長期借入金	2,558,919	1,435,928
預り敷金	117,929	118,171
役員退職慰労引当金	279,895	297,241
その他	245,534	87,193
負債合計	6,615,396	5,707,167
〈資本の部〉		
資本金	474,400	—
資本剰余金	516,922	—
利益剰余金	1,502,484	—
その他有価証券評価差額金	14,272	—
為替換算調整勘定	△39,119	—
自己株式	△109	—
資本合計	2,468,850	—
負債、少数株主持分及び資本合計	9,084,247	—
〈純資産の部〉		
株主資本	—	2,789,148
資本金	—	474,400
資本剰余金	—	516,922
利益剰余金	—	1,798,110
自己株式	—	△284
評価・換算差額等	—	△29,314
その他有価証券評価差額金	—	8,312
為替換算調整勘定	—	△37,626
純資産合計	—	2,759,834
負債純資産合計	—	8,467,001

「純資産の部」の新設

平成18年5月1日施行の会社法により、「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。これは貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債の差額として「純資産の部」に記載するものです。これにより、会社の支払能力などの財政状態を、より適切に表示することが可能となります。

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	第21期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）	第22期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）
売上高	10,102,751	9,411,286
売上原価	4,579,581	4,253,731
売上総利益	5,523,170	5,157,555
販売費及び一般管理費	4,822,732	4,346,212
営業利益	700,437	811,342
営業外収益	21,173	14,435
営業外費用	83,280	64,544
経常利益	638,330	761,233
特別利益	—	80,297
特別損失	304,660	171,754
税金等調整前当期純利益	333,669	669,775
法人税、住民税及び事業税	13,007	14,425
過年度法人税等	4,482	—
法人税等調整額	139,349	281,443
少数株主損失	75	—
当期純利益	176,906	373,907

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	第21期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）	第22期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,055,180	1,013,434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,394	17,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△875,726	△970,651
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,426	5,677
現金及び現金同等物の増加額	△101,515	66,264
現金及び現金同等物の期首残高	1,103,782	1,002,266
現金及び現金同等物の期末残高	1,002,266	1,068,531

連結株主資本等変動計算書（要旨）第22期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日　残高	474,400	516,922	1,502,484	△109	2,493,697	14,272	△39,119	△24,847	2,468,850
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当　（注）			△78,281		△78,281				△78,281
当期純利益			373,907		373,907				373,907
自己株式の取得				△175	△175				△175
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△5,960	1,493	△4,467	△4,467
連結会計年度中の変動額合計	—	—	295,626	△175	295,451	△5,960	1,493	△4,467	290,984
平成19年3月31日　残高	474,400	516,922	1,798,110	△284	2,789,148	8,312	△37,626	△29,314	2,759,834

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

単体決算の状況

貸借対照表（要旨）

（単位:千円）

科　目	第21期（平成18年3月31日現在）	第22期（平成19年3月31日現在）
〈資産の部〉		
流動資産	2,309,842	2,281,215
固定資産	7,229,515	6,507,621
有形固定資産	4,543,381	4,333,047
無形固定資産	11,899	11,733
投資その他の資産	2,674,234	2,162,840
資産合計	9,539,358	8,788,836
〈負債の部〉		
流動負債	3,384,565	3,699,855
固定負債	3,205,088	1,939,697
負債合計	6,589,653	5,639,552
〈資本の部〉		
資本金	474,400	—
資本剰余金	516,922	—
利益剰余金	1,944,218	—
その他有価証券評価差額金	14,272	—
自己株式	△109	—
資本合計	2,949,704	—
負債，資本合計	9,539,358	—
〈純資産の部〉		
株主資本	—	3,140,972
評価・換算差額等	—	8,312
純資産合計	—	3,149,284
負債純資産合計	—	8,788,836

損益計算書（要旨）

（単位:千円）

科　目	第21期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）	第22期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）
売上高	9,883,847	9,234,157
売上原価	4,556,756	4,249,100
売上総利益	5,327,090	4,985,056
販売費及び一般管理費	4,570,405	4,157,834
営業利益	756,685	827,222
営業外収益	17,878	7,687
営業外費用	79,201	64,421
経常利益	695,362	770,488
特別利益	—	80,297
特別損失	343,126	364,391
税引前当期純利益	352,235	486,394
法人税、住民税及び事業税	5,518	5,000
過年度法人税等	4,482	—
法人税等調整額	150,487	197,397
当期純利益	191,747	283,996
前期繰越利益	160,320	—
当期未処分利益	352,068	—

株主資本等変動計算書（要旨）第22期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位:千円）

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
平成18年3月31日　残高	474,400	516,922	516,922	8,150	1,584,000	352,068	1,944,218	△109	2,935,431	14,272	14,272	2,949,704
事業年度中の変動額												
別途積立金の積立額（注）					100,000	△100,000	—		—			—
剰余金の配当（注）						△78,281	△78,281		△78,281			△78,281
当期純利益						283,996	283,996		283,996			283,996
自己株式の取得								△175	△175			△175
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）										△5,960	△5,960	△5,960
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	100,000	105,715	205,715	△175	205,540	△5,960	△5,960	199,580
平成19年3月31日　残高	474,400	516,922	516,922	8,150	1,684,000	457,784	2,149,934	△284	3,140,972	8,312	8,312	3,149,284

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

会社概要・株式状況

会社概要（平成19年3月31日現在）

社　名	株式会社 ピエトロ
英訳名	PIETRO Co.,Ltd.
創　業	昭和55年12月9日
会社設立	昭和60年7月29日
資本金	4億7440万円
従業員数	従業員数　178 名 パート・アルバイト　389 名 （1日7.5時間換算の平均雇用人員）
事業内容	○ 食品事業 ○ レストラン事業 ○ その他の事業（本社ビル等の賃貸）

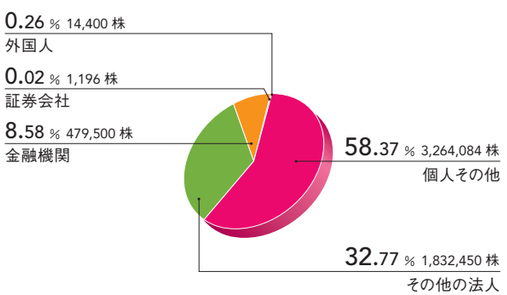
役員（平成19年6月22日現在）

代表取締役社長	村田 邦彦
取締役執行役員	渡邊 武一郎（レストラン事業部長）
取締役執行役員	高橋 泰行（ビジネス推進室長兼社長室長）
取締役名誉相談役	西川 啓子
社外取締役	上野 光典
社外取締役	臼杵 昭子
社外取締役	藤野 軍次
常勤監査役	井上 正人
社外監査役	田中 良明
社外監査役	岩本 滋昌
執行役員	金成 茂雄（食品事業部副本部長）
執行役員	大坪 康浩（総務部長）
執行役員	山本 健一（経理部長）

株式の状況（平成19年3月31日現在）

発行可能株式総数	18,000,000 株
発行済株式総数	5,591,630 株
株主数	11,937 名

大株主

株主名	持株数（株）	出資比率（%）
株式会社ムラタ	1,694,250	30.30
村田邦彦	931,850	16.66
西川啓子	374,580	6.69
株式会社西日本シティ銀行	203,000	3.63
株式会社福岡銀行	70,000	1.25

所有者別株式分布状況（平成19年3月31日現在）